

令和 8 年度 第 2 回 タウンミーティング（概要）

○開催日時 令和 8 年 8 月 10 日（月） 午前 11 時～12 時

○開催会場 江南市防災センター 災害対策本部室

○開会あいさつ

市長 皆さんおはようございます。タウンミーティングということで、市長に就任以来、毎年 3 回程度開催をしております。これまでも、町内会、中学生や大学生、様々な団体の方とお話をさせていただき、行政の向上につながっていかばということで開催させていただいております。今回は図書館の関係で、たくさんのボランティアの方にお手伝いをさせていただいている中で、希望などをお聞きしました。大変有意義な話し合いになったかと思います。今日も限られた時間ですので、私の答えが長くなってしまってしまわないように、簡単にさせていただければと思いますけども、子育てや介護だとか、女性リーダーの立場として、いいテーマをいただけたと思います。どうしたら地域の方々と一緒になっているいろんなことをやっていけるか、また女性ならではのということがありましたならば、ぜひご意見いただけたらと思っております。どうぞよろしくお願いいたします。

○出席者と市長の意見交換

出席者① まずは自己紹介を簡単に、私は江南商工会議所女性会の会長を務めさせていただいております。よろしくお願いいたします。

出席者② 女性会の副会長と企画委員会で副委員長をやらせていただいております。よろしくお願いいたします。

出席者③ 研修親睦委員会の委員長をしております。よろしくお願いいたします。

出席者④ 私は事業委員会の副委員長をしております。よろしくお願いいたします。

出席者⑤ 私は研修親睦委員会の委員として活動をさせていただいております。本日はどうぞよろしくお願いいたします。

出席者⑥ 同じく同委員会で活動させていただいております。よろしくお願いいたします。

出席者① 本日は私達江南商工会議所の女性会にタウンミーティングの機会を設けていただき本当にありがとうございます。女性会は経済団体の一員として、地域で事業を営む女性、また地域活動に携わる会員で構成されています。日頃の活動や仕事を通じて感じていることとともに、女性が働き続け、地域で活躍できるまちづくりという視点から、本日は 4 つのテーマ、子育て介護と仕事の両立、2 つ目、女性リーダー若手育成企業支援、3 つ目、地域経済活性化、4 つ目、女性会と

行政との連携について意見交換会をさせていただきたいと思います。どうぞよろしくお願いいたします。

出席者④ では私からテーマ1の子育て介護と仕事の両立についてお話させていただきます。当会員には介護を経験した方や民生委員として活動している方もおられます。その中で感じているのは、子育てや介護の支援制度はあるものの、相談から利用までに時間がかかる場合もあり、支援につながるまで高齢者が不安に感じておられるということです。また、老々介護も増えており、みずから相談できない方も少なくありません。さらに、働く保護者の立場では夏休み期間なども生活に大きく関わることだと感じております。江南市では、子育て介護と仕事の両立について現在どのような課題を認識されており、今後どのような方向性で取り組んでいかれるのでしょうか。

市長 難しいご質問いただきましたけど、現場の方ではいろいろ相談業務はしていると思っておりますが、直接困ったこと、助けてくださいというような市長の手紙とか、そういったものも入ってきたりはするんですけども、困ってみえる当事者の気持ちをしっかりと把握しながらやっていかないと、本当に迷ってしまうようなことになろうかと思っております。寄せられる声をしっかりと聞きとめることがまず第一でありますし、自分のこととして考えて行動できればいいかと思うんですけども、なかなか難しいです。お話変わりますけど私も保護司をしてまして、1件1件状況が違う中でどう対応していくのか、民生委員さんも同じでしょうけれども、個人で考えなきゃいけないこともあるかもしれませんけど、保護司で言えば、保護観察所の担当の観察官に聞いてみていろんな事例持ってみえますから、どう対応していくかが大切かと思っております。役所においては、個人の要望についてはしっかりと聞きとめて、上司と相談をされたり、結論を出していくことをできるだけ早くしていかなければいけないと思っており、一人で抱え込むのではなくて、また行政だけで抱え込むということでもなくて、関連する団体であったり、女性の問題だったら、今回の商工会議所女性会であったりとか、そういったところと相談できればと思っております。そういった機会をどんどん増やしていくことの大切さ、しっかりと自分の事としてとらえていくということがまず大切じゃないかなと思っております。

出席者⑥ 企業単位で何か、その地域の民生委員さんと連絡を取るとか、特に子育てや介護で支援を必要としている方がみえる企業さんはそういう方と連携をとって、それを市に報告するという形は取れないでしょうか。

市長 可能は可能じゃないですか。ちょっと実際にどういうふうかわかりませんが、守秘性がありますから、なかなかその現場へ行ってやるというわけにはいかないかもしれませんけども、やはり相談をしていただくということを個別でしていただけるような環境づくりをすることが大切だと思います。もちろん、企業の協力ってものすごい大事なことです。そうしたことを意識していくことも大切なことだと思っております。

出席者② 女性会には、子育てや介護をしながら事業を続けている会員も多く見られます。また、地域で見守り活動する中で支援が必要ではないかと感じる方がい

ても、ご本人から相談がないため支援につなげることが難しい場合もあると聞いています。そうした方に支援が行き届くよう、行政との連携が必要ではないかと感じています。そのような地域の連携は市長さんもさっき言われたように、一番大切だと思うんですが、今後どのように進めていくのがいいとお考えでしょうか。

市長 先程の話とも通じるところがあるかもしれませんが、何に困ってるか、どこへ相談していいのか、本当にわからないという方が多いと思うんです。逆にそういう方に触れたときに、役所に相談したことがあるか聞くと、ないことが結構ありますから、これは行政としてそうした広報はやってはいるんですけども、困っている方ってそういうのを見てない人が非常に多い。どう広報していくか難しいところです。

出席者① ある意味、地域のコミュニティの活性化というところで、地域でもそういう活動を、ちょっと声を出していただけるような取り組みはどうでしょうか。

市長 すごく大事だと思っていて、かつて 20 年も前に江南市では大運動会がありました。幼児から高齢者まで、毎年やってマンネリ化してくると、参加するところが子供会とか老人会とかスポーツ少年団とかその程度で、これじゃだめだということで、そこで使っていたお金を 10 校下に割り振って、コミュニティスポーツ祭を作ったわけです。まとまって運動会をやっているようなところは、市から補助もらえるからと継続しているところがあれば、何もやってなかったところは、軽スポーツの大会でもやりましょうかと、案内を出してコミュニティスポーツ祭をやりました。それも結果的に物を配るだけに、人を集めることに変わっていつてしまって、今は非常に本来の目的から外れてしまったということがあります。これはもう改革していかなきゃいけないということで、今度取り止めることにしております。変わって、各地域で盆踊りをやってるところがあります。そこに私が行って、こういうことが大切だよと盛んに伝えています。何かあったときに顔の見える存在であることが大切で、お祭りだと一番参加しやすいので、逆にそういったことを一つのメインにして、今後ある災害に対して地域力を高めましょと区長さんや実行委員会が言ったんですね。これ非常にいいことで、それを今使わせてもらったんですけども、そういったことが大切かと思っています。もう一つは、皆さん方から非常に苦情も多い資源収集であります。不燃ごみを持っていくこと自体が大変なので何とかしてとか、共働きの世帯が増えて当番ができないから何とかしてって言うんだけど、このこと自体が誰々さんが今日は見えてないねだとか、逆にいつもあの人は持って来るよねだとか、様々な交流があったり、当番をしてもらうことによっていろんな分別の仕方を覚えたり、役員さん達とコミュニケーションが取れたりということで私は大切なことだと思ってますし、これを廃止すると莫大なお金がかかって、ごみを収集するときにまた、お金をいただくかなければいけないというようになっていくと、また大騒動になりますので、できる限り申し訳ないですけど、年に 1 回あるかないかの当番は、できれば会社休んでも出てきて欲しいですと、今、怒られても訴えています。こういったことを会社の方にもきちんと伝えなきゃいけないという先程の話がありますが、地域の活性化のために、衛生環境の保護のためにも、私としては訴えるようにしています。

出席者⑥ 私からは女性リーダーと若手育成企業支援についてお話をさせていただきます。市内だけではなくて全国的に人手不足は問題になってますし、私、建設業なんですけど、特に建設業は如実に人手不足で、外国から実習生も来ていただいている現状です。建設業なので男社会なんですけれども、女性が活躍できる場所でもあるので、どんどん女性も活動できるように、私達、個人・団体では活動してるんですけども、市の方でもそういう活動できる場所を提供していただくことは可能でしょうか。また産業フェスタもされてますけれども、それ以外に商工会議所の場所とか、市役所や市の場所を提供いただいて、江南市内の企業さんがアプローチできるようなものを年に 2 回春と秋とかしていただくことは可能でしょうか。

市長 なかなか難しいと思いますけども、まずやっぱり女性が活躍できる社会というのはもう皆さんが言っていることだから、そうしなきゃいけないという浸透はしてきてると思います。実際まだ難しい面とかあったりするんですけども、一方で、進んでる面もいっぱいあって、先程図書館の話もしましたが、こういったボランティアって女性がほとんどなんです。無報酬でとにかく図書館大好きで人にいっぱい来てもらいたいと活動されていて、そういったものが増えてくると、横展開をしてきて、行政が特に何をするというわけではなくて場所を提供したり、会議室を提供することぐらいで、そうした広がりにはやっぱり大切だと思っております。企業の話になってくると、女性でもやれる仕事という考え方ではなくて、誰もが、女性であろうが、高齢者であろうが障害者であろうが、やれる環境を作っていかなければいけないということはすごく大切なことで、江南市でもいろんな行政委員会とかあるんですけど、女性の定数を 3 割以上にしましょうとか、そういったことをしないでも、普通に話をしたいとか、応募をしたら手を挙げていただけるような体制に持っていけたらと思っていて、女性だけ集まれというイベントもあったりしますが、いろんな業種であったり、ボランティアであったり、様々な形でやったりはしてるんですけども、そういった中で女性活躍の PR はされていると思うんですけども、いかにそこにたくさんの人に来ていただくか、PR をするかということはまだ足りない部分もあるかもしれませんけども、大切なこととしてやっておられると思います。

出席者⑥ 春日井市では、市長と商工会の女性部会がタッグを組んで新たに女性で起業される方を 5 人とか募集して、競い合わせて最終的に 1 名 2 名残ってもらってそこから春日井市内で起業していただくっていう活動もされてるんです。江南市はそういうのはどうですか。

市長 そういう女性を募集するというようなことは特になくて、いい方法だとは思いますが、予算をどうつけていくか、何を補助していくか、実効性のあるものにやっぱりしていきたいと思うんですが、春日井市さんの例はよく把握はしておりますけれども、そうしたことをしているという PR にもつながりますので、大切かなとは思いますが。回数や人数、予算面をどうするか、まず何をするかっていうことをやらなきゃいけないかなと思います。女性に限らず、新しく起業したい学生でもいいわけですから、最近はそういった人達に声をかけるようなそういったものも必要かもしれませんし、今特にはどちらもないかなとは思いますが。

出席者⑥ 将来的にはどうですか。

市長 やれなくはないんだけど今言ったように目標や目的をしっかりと掴まない
と、形だけのものに終わってはいけませんので、そういった需要がどこまである
のか、行政が育てあげていくのかということも、難しい問題かと思います。女性
がということについては、それだけ取り上げるとそこに対する逆差別が出てくる
ので、じゃあ俺達はどうなのっていう男性があったり、学生があったり、高齢者
があったり、障害者があったり、やっぱりある程度平等性を持ってやらなきゃい
けないのかなとは思いますが。何か新しく起業するということに対しては、男女関
係なく、やりましょうという機会はできるかもしれません。

出席者① 今のお話、ぜひ商工会議所と行政が連携をして、これから先進めていた
だければと思います。そして私から、会員から共通して聞かれる話、今と少し関
係しているかもしれませんが、人が集まらないとか、育った人材が転職し
てしまうという声があります。それぞれ事業を営む中で、特に人材確保、人材育
成の難しい日々を痛烈に感じています。行政の支援制度があっても、制度がある
ことを知らなかったとか、どこへ相談したらいいかわからないという声もよく耳
にしています。私達も、この市と行政をつなぐ役割を担える部分があるのではな
いかと思っています。行政と市内団体との情報共有、また相談体制について、今
後どのような形が望ましいとお考えか教えていただければと思っています。よ
ろしくをお願いします。

市長 やっぱり難しくて、全体的に同じようなテーマという気はするんですけども、
行政との連携は大切かと思っています。会社、団体、ボランティアなどそれぞれが持
つノウハウを皆さんに知っていただき、お互いに利用しやすい環境をつくって
いく、また行政はそれをどう取りまとめてPRをしていくかということ、例えば女
性の場合ですと、先程言った女性連絡協議会のイベントで、それぞれ発表をされ
てますけども、そういったところでPRをしていくことが大切かと思っています。行政
だけではなくて協働してやっていくことの大切さは重々感じています。あとは行
政と相談ができるかということも大きなテーマじゃないかなと思います。行政の
方は困ったことがあれば何でも相談してくださいという窓口は最低限あるとは思
いますが、担当課で個々に相談をしていただくような体制がとればいいか
なと思っています。すべてを行政から発信していくことについては限界もあり
ますので、お手伝いをしていただきながら、広めていくことがあれば、そこに協
働で取り組んでいけたらなと思います。

出席者① ぜひ商工会議所との連携を深くしていただきながら、私達女性会も一生
懸命協力体制で行きたいと思っていますのでよろしくお願いします。

市長 ありがとうございます。産業フェスタとかでいろいろ活躍していただいてる
姿はわかりますし、ただ形式的にやっている、そうなりつつあるような様々な団
体がありますので、見直すところは見直していかなくちゃいけないと思っています。
少しずつお客さんも減ってきている印象がありますし、楽しめる、同時に勉強で
きるようなイベントにできるといいかなと思います。ぜひ頼りにしております。

出席者④ また私からご質問させていただきます。次は地域経済の活性化と女性の活躍についてお話させていただきます。地域経済を元気にするためには、女性が働きやすく、活躍しやすい環境づくりもやっぱり大切だと思います。例えばキャッシュレス型地域通貨の活用などは、地域での消費や人とのつながりを生み出す可能性があると感じております。また女性会には様々な業種の女性経営者がおりまして、現場ならではの気づきや経験もあります。こうした女性の視点を地域づくりにどのように生かしていけるとお考えでしょうか。

市長 女性ってということからくる、やっぱりそのやわらかさとか優しさを想像してしまう。これ自体が差別の表現になってはいけないとは思いますが、そうした特性が生かせればいいのかと思います。差別につながるようなことは最近では少ないとは思いますが、もし差別みたいなことを感じるようなら、それを是正できる社会にしていかなきゃいけないとは思いますが、行政としては、そういうことには厳しく取り組んでいるつもりではあります。キャッシュレスの話があったんですけども、江南市今、商品券を 5000 円分配ってます。最初私は、デジタル化をもっと進展させるためにキャッシュレスのポイントをやった方がいいと、けれど高齢者が困るという意見が出て、高齢者が困るなら、キャッシュレスポイントの相談体制を役所の中でブースを設ければいいじゃないかと思ったんですけども、なかなかそこまではいかなくて、紙の商品券配った方がわかりやすいのかなと思ったりしてます。確かにキャッシュレスのポイントをつけるころでは、トラブルも起きてます。ちょっとしたミスで、市民だけにポイントをつけるはずがどこからでもコンタクトできてしまったり、大変な失敗をしたというところも聞いたりしてます。保険証が今なくなりましたので、84 歳まではマイナカードに切り替わってきてると思うんですけど、そういった制度としてやっていくことは大事なかなとは思っています。そういう時代に慣れていかなきゃいけないし多くの方がスマホを持ってる時代ですから、そういったことがこれから大事かと思っております。話はずれてしまいましたが、やはり女性ならではの仕事であったりとか、これは男性でしかというようなことで、やれることは何でもやってもらいましょうと、できるだけそのハードルを下げてということは私も思います。何かいい案があれば、皆さん方で出していただいて PR させていただきます。

出席者⑤ 続きまして私から、女性会には、製造業、小売業、サービス業など様々な分野で活躍する女性経営者がおります。日頃、お客様や社員、地域の皆様と接する中で、それぞれの立場から地域の課題やニーズを感じる機会が多くあります。そうした現場の声を行政と共有しながら、地域経済の活性化につなげていくことも大切ではないかと感じています。行政と地域の事業者が継続的に意見交換を行い、先程も顔の見える関係が大切ということを仰ってみえましたが、そこに重点を置き、地域づくりを進めていくことについてどのようにお考えでしょうか。

市長 大事なことなので、こうした話をする機会というのはできるだけ設けていきたいと思っております。今日のように商工会議所女性会ということで来ていただく場合も含めながら、やっぱりある程度気心の知れたとか、業界であったりとかそういうことで来ていただいた方が話がまとまりやすいので、ただ継続的ってなかなか難しい話ではありますので、やっぱり何か機会をとらえて、またこうした討論会

の時間は取ろうと思えば取れると思いますので、1 時間ぐらいで、タウンミーティングということではなくて、今こんなことを困ってますということを女性会の立場としてあるならば、また仰っていただければいいかと思いますので、ぜひお願いをしたいと思います。いろんな意見を聞く機会が増えるということは、行政としても、市長としてもありがたい話ではありますので、課題解決に向けて取り組んでいけたらとは思っております。

出席者① ちょうど来年、私ども女性会 40 周年の記念行事を迎えます。行政、商工会議所といろいろご相談をさせていただく機会も出てくるかと思っておりますので、ぜひお足を運びいただけるような機会を設けますのでよろしくお願いいたします。

市長 本当にそういう機会をどんどん設けていただければいいとは思っております。気兼ねない形、気楽な形で 30 分でもいいので。

出席者③ 私は当女性会と行政との連携についてお話させていただきます。女性会のメンバーは、女性連絡協議会に携わったり、私も民生委員として今年で 13 年目に入って、さっきの話でもありましたが、子育て世代、老人の方との触れ合い、その接し方、やっぱり相手様が一人一人性格も考え方も違うので、どう寄り添っていったらいいのか考えながらやっています。あとは学校運営協議会にも携わっていて、先生と父兄との悩み相談とか、私以外でもそうやって本当にメンバーが行政と関わりを持っています。仕事だけじゃなくて、そういうメンバーがいっぱいいいて、一番女性会として言っておきたいって思うのは、活動の中で長年携わってきたものに藤まつりがございます。最初は園内の清掃活動に始まったんですが、前はゴミ袋の提供をライオンズ様からいただいて、園内で活動させていただいた経緯がございます。コロナ禍でそれが中止になって残念に本当に思っていたんですが、今年数年ぶりに形を変えて募金活動で園内に立ってお手伝いできたことは本当によかったなって思っております。なぜ募金が必要なのかその意味をお客さんにお伝えすると、快く賛同していただいて、「来年も綺麗な花を見に来るね」、「藤の花綺麗だったね」って笑顔で協力してくださる方、小学生の娘さんから「募金したい」ってせがまれて協力してくださった親御さん、地域の行事でそうやって地元の人のみならず、他県の人、他市町村の人のそういう嬉しい言葉、思いが共有できまして、とても素敵な時間となりました。地域の魅力を伝え支える活動ができましたことはとても嬉しく感じます。今後も、行政と継続的に情報交換を行って、やっぱり地域に貢献できる活動を考えていくことが必要じゃないかなと思っております。それこそ市長さんも今までの話を伺っていると、すべてのことに真摯に考えて心を込めた対応を考えてらっしゃること、とても私はありがたいことだなと思いました。今後どのように連携していったらいいのかということを考えていただけるとありがたいと思いますが、いかがでしょうか。

市長 藤まつりの話でいけば、募金活動していただいて結構な金額が集まったかなと思うんですけども、もともと募金ではなくて、有料化しようという話もあったんです。正式に議論にのったわけではありませんけれども、ただ入り口がいっぱいあって、外からも見えてしまうのであまり意味がないということで、立ち消えになったんです。田原市では、菜の花がいっぱい咲くときに行くと、2、3ヶ所通

路があるんですけども、そこに役員さんがパンフレットを持って立ってるんです。その横に箱を持ってる人がいて、入場料幾らじゃないんです、ご自由に入れてくださいって、そこで必ず止まらなきゃいけないので、みんなお金を入れる仕組みで、曼陀羅寺でもできるといいかなと思うんですけど、幅が広い中で止めるのもなかなか難しいので、今年の方法が限度かなと思いました。やはりそれなりの費用がかかってるということと、花を大事にしましょうという気持ちがそこに表れたり、それからちっちゃい子供達がニコッとして入れる姿ってのは多分大人になっても覚えている姿で、募金の大切さを親から聞いて伝わっていけば、それが家族の絆に深まっていけばいいかなと見させていただいております。行政としてはできるだけそういった協力をいただける部分についてはお願いをしていけたらと思っています。

出席者② 私達も行政の取り組みを知ることで、女性会として協力できることや、会員の皆様へ伝えていけることが見えてきたかと感じております。地域の課題は行政、企業、地域団体、それぞれの持っている力を生かして取り組んでいくのが一番大事なのかなと思いました。課題や方向性を共有できる段階から意見交換ができるといいかなと思いましたが、さっき市長さんが仰いました。継続的な意見交換の場ってというのはなかなか難しいと、その都度、意見交換の場を持っていたけるということでしたので、ありがとうございました。

市長 すいません、先に答えを言ってしまったかもしれません。大切なことで、常に交流していくっていうこと、どんなことでもいい、顔を見ただけで今日元気とか、そこからいろんなことが始まってくるので、自由に、そういった関係がいいかと思います。

出席者① まだ少しお時間があるようですので、自由に皆さんからお声を出させていただこうかなと思います。

市長 会社経営のお手伝いをされていて、こういうこと困ったけど何かないかな、そういったものが聞こえたらと思うんですけど、どうですか。

出席者⑥ 今熊本でも地震があって大変なんですけれども、災害のときに、地域、企業、行政の連携がどういうふうに取れるのかなと。今正直孤立っていう印象なんです。うちの従業員は会社にさえ来てくれれば何とかなるっていう状況にはしようと思って今準備をしてるところなんですけれども、やっぱり限界があるので、区・町や市とどういうふうに連携を取っていけばいいのかが今正直わからないので、そこがちょっと不安な部分ではあります。

市長 仰る通りで、昨日も夜中地震がありました。本当に万が一江南市で震度 6 強ということも言われてるんですけども、それぞれ役割は役所の中であって最小限の維持をしていかなければいけないということで、マニュアルも作ってはいるんですけど、社協と協力しながら、ただ社協の限られた人数で全部やるってなかなか難しい話でもあるし、だから本当に普段からこうなったらどうするかという備えをしておくことが大切、もう本当その大切さを会社の中で、もしこうあったら、命令系統だとか改めて見直さなきゃいけないし、それぞれでやっていただくって

いうことを考えなきゃいけないとは思いますが。水と食料まではよく言われるけども、それでも置いてるところは 4 割とか 5 割じゃないですかね。だから、防災訓練を行ったときに、1 年経ったらその時に入れ替えるようにしましょう、中も見直しましょうなんて言っています。やっぱり日頃から意識を高めておくことと、実際に準備をすることの大切さじゃないかなと。それでも十分なことは絶対できません。行政の方としては多分できなくなってしまうのでまず自助共助を大事にしながら、自分を守る、互いに助け合う、だから連携だとか、先程のごみ出しの問題の話もしましたし、祭りの話もあったと思うんですけど、そういったことの大切さっていうのは、自然と動くので、やって欲しいなと思ってます。江南市内では飛高町が優れているんですけども、もし何か大きな被害に遭ったときに、玄関の裏側に紙があって、我が家は大丈夫ですよというのを玄関に出すことによって、調査する人が楽になるということもやってるんです。それは防災会議のリーダーさん達が繰り返しやっていて、それでも達成率はまだ 5 割 6 割かな。熊本では、避難して車で生活している人が多くてエコノミー症候群になる人があったりする、ご近所づき合いがないとそういう誰々さん見てないよねっていうところや、知らない人は食事ももらえないなんて思っているのも、日頃のつき合いの大切さっていうのを、大きなことがあったときにやっぱり心配だなんて思います。ただ、個人主義というか、そんなん大丈夫だわとか、個人的な意見ってのはすごく強くて、答えが出せないということがあったりします。会社経営者の中にあっても、行政の中にも、一つ一つどう対応していくかっていうことのその心の準備だとか、そういったことも大切じゃないかなって思っております。

出席者⑥ 最後に、今日お話しさせていただいて、一番心に残ったことは何ですか。

市長 やはり女性会として連携をどう持つかっていうことは大切かなと思いました。例えば今労働問題で、非常に従業員集めで困ってる、そうした相談会とか発表会って商工会議所でやるべきことかもしれないけれども、一緒になってやれることがあるならば、行政も一生懸命やっている姿を見せる、そういった部署もありますから、そうした連携を持つことの大切さじゃないかなと思っております。

出席者① 今後も行政と連携して、住みやすい活力のある江南市に私達も貢献していきたいと思っておりますので、本当に今後ともどうぞよろしくお願いいたします。本日は誠にありがとうございました。

市長 いつでもお待ちしておりますので、言ってきてください。今日はありがとうございました。参考にさせていただきます。